

個人情報保護委員会（第317回）議事概要

- 1 日 時：令和7年3月12日（水）13:00～
- 2 場 所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：大島委員長代理、浅井委員、清水委員、藤本委員、
梶田委員、高村委員、小笠原委員、穴戸委員
佐脇事務局長、西中事務局次長、小川審議官、大槻審議官、
吉屋参事官、山口参事官、片岡参事官、澤田参事官

4 議事の概要

（1）議題1：米連邦取引委員会（FTC）との面会概要について

事務局から、資料に基づき報告を行った。

浅井委員から「本年2月25日及び26日に、米連邦取引委員会を訪問し、1月20日に同委員会の委員長に就任したアンドリュー・ファーガソン委員長及びレベッカ・ケリー・スローター委員と対話を行った。

本表敬訪問により、当委員会と米連邦取引委員会の間で緊密に連携を進め、今後も充実した協力関係を構築していくことについて、意見の一致を見ることができたように思う。

ファーガソン委員長とは、プライバシー・データ保護の視点での重要項目などについて意見交換をし、特に、プライバシー・データ保護とイノベーションのバランスに対する考え方、今後の政策的な見通しについて言及するなど、率直な会話を交わすことができ、大変有意義であった。

また、スローター委員には、米連邦取引委員会が我が国と共に共同議長を務めるG7データ保護・プライバシー機関ラウンドテーブルでの執行協力作業部会の関与について謝意を伝え、特に本年6月に開催予定のオタワ会合に向けて、協力関係を確認した。米連邦取引委員会とは、引き続き更なる連携強化に努めてまいりたい」旨の発言があった。

大島委員長代理から「米国は我が国と価値観を共有する重要な国であり、本年1月に、トランプ大統領の就任に伴って新たに米連邦取引委員会の委員長に任命されたファーガソン委員長と率直な意見交換の機会を得たこと、また、本年6月のG7データ保護・プライバシー機関ラウンドテーブルにおいて、米連邦取引委員会を代表して出席する予定であり、その執行協力作業部会で我が国と共に共同議長を務めるスローター委員と協力関係の継続や強化を確認したことを歓迎したい。

本会談を通じて、お互いの信頼関係と連携を更なる高みに引き上げ、このプライバシー保護の分野において、共に協力して主導的な役割を果たしていければと期待する」旨の発言があった。

以上